
福井県長期ビジョン

[2025年改定版]

20年先の 将来像

➤ 第1部 将来構想 【目標年次 2040年】

- ・ 基本理念、基本目標
- ・ 福井県が目指す姿
- ・ 将来イメージ、長期プロジェクト

5年ごとの 実行計画

➤ 第2部 実行プラン 【計画期間 5年間】

- ・ 基本方向、最重点プロジェクト
- ・ 分野別政策（5分野18政策）

地域別の 主な施策

➤ 第3部 地域プラン 【計画期間 5年間】

- ・ 県内4地域の将来イメージ
- ・ 5年間の主な施策の方向性

○ 基本理念

「安心のふくい」を未来につなぎ、
もっと挑戦！ もっとおもしろく！

○ 2040年の目指す姿



SDGs（誰一人取り残さない、多様性と包摂性のある持続可能な社会）の
理念に沿いながら、**3つの姿**を目指す

自信と誇りのふくい

「ふくいらしさ」を大切に。
県民が誇りをもって暮らす
ことにより、さらに多くの
人を呼び込む“ふくい”

「ふくいらしさ」を伸ばし、
外に開いて人を呼び込む。

誰もが主役のふくい

すべての人が輝き、
互いに支え合い、幸せを実感
しながら、将来にわたり
安心して暮らせる“ふくい”

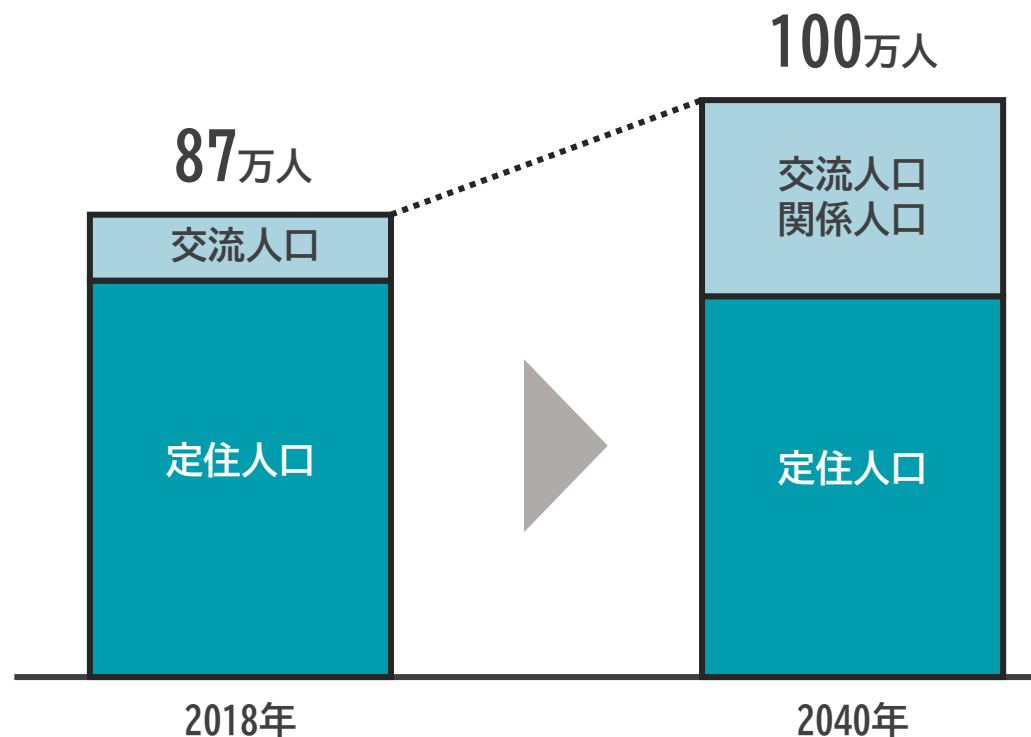
多様な個性を大事にし、
みんなが自分らしく輝く。

飛躍するふくい

交通体系の進展や
技術革新を活かして、
産業の新たな可能性を拓く。
創造的で活力ある“ふくい”

変化をチャンスに、
しごととくらしを創造。

しあわせ先進モデル 活力人口100万人ふくい



県民誰もが豊かなくらしを楽しみ、そのイキイキとした姿やまちの魅力が
人を呼び込み、地域がにぎわい、それがまた県民の誇りにつながる。

2040年の将来イメージ



福井に残る家族・地域のつながりや、
支え合いの精神を大切にしながら、
子どもからお年寄りまですべての世代
が安心して暮らし、生涯活躍できる
全国モデルのしあわせ地域



1500年の歴史を誇る伝統工芸をはじめ
悠久の歴史に育まれたくらしや文化、
自然風土など、福井の「千年文化」が継承
され、オンリーワンの魅力に、国内外から
多くの人々が惹きつけられ往来する
一大交流地

古き良きを新しいよこびに
ともに楽しむ千年文化

誰もがいつまでも居心地よく
全世代の快適人生

交 流

自然といっしょに未来を育てる
夢がかなう農林水産業



福井の生活や文化、農山漁村の風景を
形づくってきた農林水産業が、
最新技術の活用やプレミアムブランドの
創出により「稼ぐ力」を一段と高め、
若者が憧れる新たな成長産業に飛躍

く
ら
し

2040年の
ふくい

産
業

上質なくらしの先駆け
**WAKASA
リフレッシュエリア**

基 盤

ものづくり×デザイン
**感動につなぐ
価値づくり産業**

日本地図を書きかえる
**国土強化の
新ネットワーク**



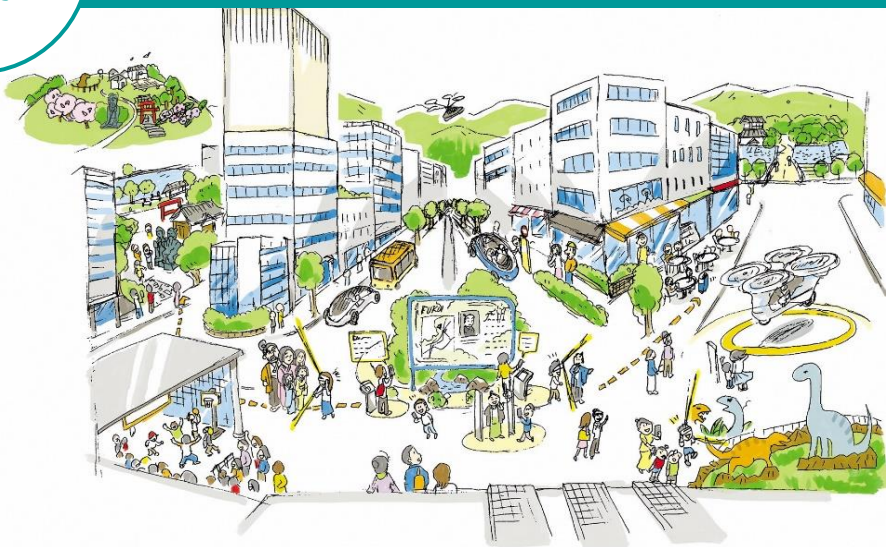
豊かな歴史と自然環境、洗練された美しい
町並みに惹かれ、国内外から
多くの人に移り住み、未来技術を活用した
新しい働き方と質の高い生活
を両立する「くらしの先進地」を全県に



「世界最先端のスマート港湾」敦賀
港をはじめ、北陸新幹線や中部縦貫
自動車道の完成により、日本海側の
重要拠点として、アジアや三大都市
圏との人流・物流が飛躍的に拡大



福井の産業集積とそれを支える高い
人材力に、技術革新とデザインが
結び付き、新たな価値を創り出す
先端企業が次々に生まれ成長する
「地域循環型」の新産業集積地



歴史と自然が調和したにぎわいエリア



食と農のプラットフォームエリア

○歴史を活かした県都のまちづくりが進捗。永平寺、一乗谷朝倉氏遺跡や 三国湊、丸岡城などの歴史遺産、東尋坊、あわら温泉など、福井を代表する観光資源が集積する

歴史と自然が調和したにぎわいエリア

○繊維や化学、機械などの企業、産業支援機関、大学などがオープンイノベーションの推進により、革新的な技術や製品を生む

未来産業創造エリア

○県立大学や園芸カレッジ等による人材育成と、スマート農業、園芸導入による複合経営、食のブランド化により新たな価値を生み出す

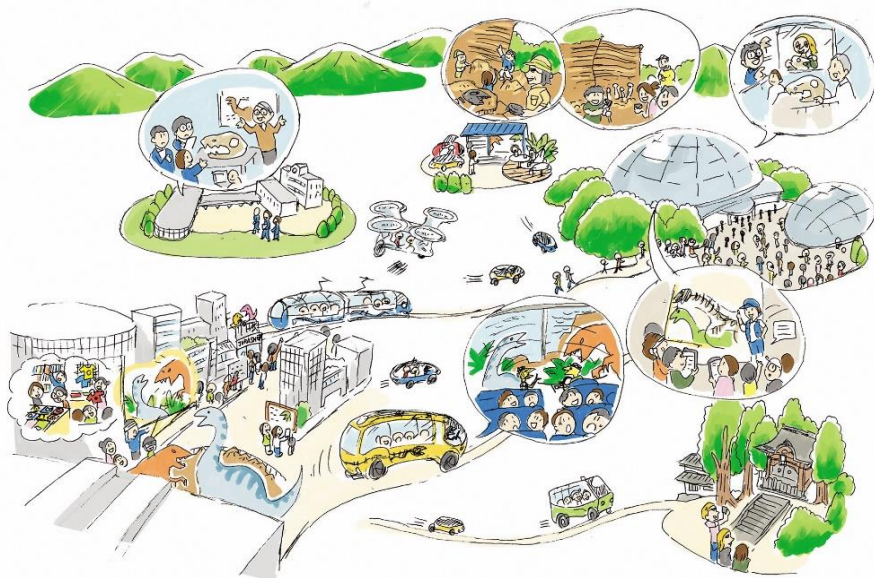
食と農のプラットフォームエリア

○自動運転やMaaS、オンデマンド交通など、県民や観光客にとって新たな移動手段が実現する

先端交通エリア



大自然と歴史遺産のブランドエリア



世界一の恐竜研究・体感エリア

○日本一の星空にも選ばれた六呂師高原や刈込池の雄大な自然と野外活動、天然記念物に指定された恐竜化石や発掘現場など、ほんものの大自然を体感するエリア

○福井と中京を結ぶ「東西交流軸」の拠点として、産業団地や道の駅を中心に新たに人や企業が集まり交流する新産業集積エリア

○中世宗教都市の歴史を感じる白山平泉寺、越前大野城やその城下町など、奥越前の歴史遺産ブランドエリア

○農地・森林を保全し、その豊かな農山村の資源を活かした農林水産業の振興と6次産業化による、にぎわいと活力の里地里山ビジネスエリア



伝統と革新が融合する最先端のものづくりエリア

○5つの伝統工芸や眼鏡・繊維など長い歴史を有する地場産業と電子・化学等ハイテク産業が集積し、伝統と革新が融合する最先端のものづくりエリア

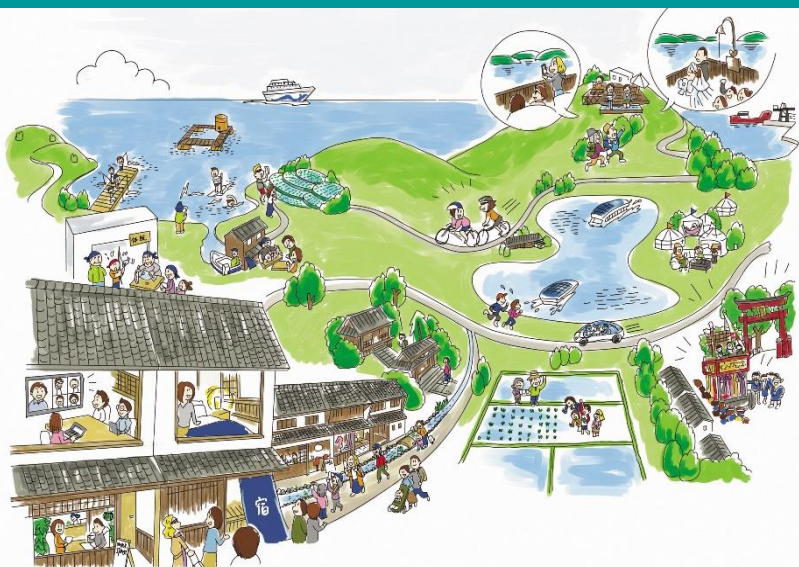
○地場産業や先端技術産業、豊かな自然を活かした農林水産業などに魅力を感じて集まった移住者、女性、外国人など 様々な人たちが共生しチャレンジするエリア

○越前水仙などの景観、生き物に配慮した環境保全型農業の水田地帯、北国街道の今庄宿や鉄道遺産など、行き交う 歴史や自然が魅力の街道新交流エリア

○伝統的民家や農家民宿などに滞在し、伝統工芸・クラフト体験や農業体験など地域の営みを楽しむ
新たな 「しごととくらし」の観光エリア



行き交う歴史や自然が魅力の街道新交流エリア



くらしの先進地 WAKASAリフレッシュエリア



人と企業が集まる嶺南Eコーストエリア

○京都・大阪との近接性、自然や歴史・文化・食の魅力、
安心の子育て環境を活かし、嶺南から関西に通勤し、
創造的に働きながら文化的・健康的に過ごせるくらしの先進地
「WAKASAリフレッシュエリア」

○スマートエリアの整備、廃炉ビジネスの育成、新たな試験
研究炉を核とした研究・人材育成の拠点化や産業創出によ
り、人や企業が集まる嶺南Eコーストエリア

○新幹線や敦賀港のクルーズ船からの外国人が三方五湖や
鯖街道、人道の港、漁家民宿など嶺南の自然と歴史
を楽しむ
インバウンドリゾートエリア

○人々の手で守り継承されてきた伝統芸能・祭り、寺社仏閣、
食文化などを学び、交流する
伝統文化を学び体感するエリア

計画の体系

- ・ 県政運営の基本となるものであり、**県の施策の方向性を総合的かつ体系的にまとめた計画**
- ・ これまでの人口減少対策戦略を「人口減少対策プロジェクト」として実行プランに統合し、将来像の実現に向け対策を強化

実行プラン
(2025～2029)

基本方向

＼／ とんがろう、楽しもう、ふくい ／／

最重点
プロジェクト

3つの分野横断プロジェクトと人口減少対策プロジェクト

ひとが活躍

まちに活気

くらしに活力

人口減少対策プロジェクト（次世代ファースト戦略）

将来像の実現に向けた
分野別政策

- 5分野に18の政策の柱を立て、特に重視して実行する「重点施策」等を具体化

個性を伸ばす
(人材力)

成長を創る
(産業力)

楽しみを広げる
(創造力)

住みやすさを高める
(地域力)

ともに進める
(総合力)

と

人口減少対策プロジェクト

- 分野別政策の中から人口減少社会に立ち向かう施策を体系化

人口減少対策プロジェクト

次世代ファースト戦略

適応戦略

従来の「ふくい創生・人口減少対策戦略」に相当

とんがろう、楽しもう、ふくい

- ・誰もが自分らしく生きられる「安心の居場所」と「活躍の舞台」のある「日本一の幸せ実感社会」を実現し、
- ・一人ひとりのチャレンジとまちの進化を好循環させ、もっとおもしろい「ふくい新時代」をみんなで切り拓いていこう

《 5つの総合目標 》	①都道府県幸福度ランキング	総合 1 位	▶	総合 1 位を維持
	②県民の総合的幸せ実感度	7.0点	▶	現状値以上
	③地域への愛着実感度	3.4点	▶	現状値以上
	④合計特殊出生率	全国 8 位	▶	全国上位を維持
	⑤社会増減（日本人のみ）	▲2,018人	▶	▲2,000人未満

- ・全世代の活躍のもと、チャレンジとまちの進化を好循環させ、県民の暮らしを守るための3つのプロジェクト
- ・こども・若者や子育て世代を社会全体で応援する人口減少対策プロジェクト（次世代ファースト戦略）

ひとが活躍



「安心の居場所」と
「活躍の舞台」

まちに活気



「持続的なまちの進化」

くらしに活力



「日本一の幸せ実感社会」

次世代ファースト戦略

次代を担うこども・若者や子育て世代から「選ばれるふくい」



最重点プロジェクト：ひとが活躍

第2部 実行プラン

一人ひとりが輝ける
共生社会の実現

多様な価値観を尊重し、
国籍・年齢・障がいの有無に関わらず、
個性や能力を発揮できる社会を形成

全世代の活躍と
世代を超えたつながりの拡大

すべての世代にとって
幸せな生涯活躍の場
づくりを推進するとともに、
誰もが安心の防災対策や
医療福祉を充実

自分らしさを
発揮できる
「安心の居場所」
と
「活躍の舞台」

地域への自信や愛着の醸成

一人ひとりの活動が
地域の未来を創ると実感できる
仕組みを拡大し、
地域との関わりと
人とのつながりを強化

○ 一人ひとりが輝ける共生社会の実現



- ・企業や地域におけるアンコンシャス・バイアスへの気づきや相互理解の促進
- ・外国人の不安に寄り添う相談体制の強化や、外国人と地域住民との協力体制の構築
- ・障がい者が自分らしく活躍できる環境づくり など

○ 全世代の活躍と世代を超えたつながりの拡大



- ・シニア世代の活躍応援や、世代を超えて住民が集う居場所づくり
- ・誰ひとり取り残されない防災・減災対策の充実 など

○ 地域への自信や愛着の醸成



- ・県立大学における地域政策学部（仮称）の新設
- ・自分の将来や生き方を考える機会を提供する「ライフデザイン教育」の推進 など

新幹線効果の最大化・持続化

観光・まちづくりへの官民投資

を着実に展開。

県内全域への波及効果やワクワク感を増大

官民共創による
地域活性化チャレンジの拡大

地元発チャレンジの応援や、

民間企業のチャレンジの場

としての魅力を高め、県外からの

投資・人材の呼び込みを

拡大

地域の未来への
期待感を生み出す
「持続的なまちの進化」

産業の高付加価値化と
基盤強化

脱炭素や資源循環など、

社会的価値と

経済成長を両立させ、

「価値づくり産業」の

創出を促進

○ 新幹線効果の最大化・持続化



- ・観光地のさらなる魅力づくりや上質な宿泊施設の整備支援、外国人観光客等の誘客拡大
- ・文化芸術やスポーツを気軽に楽しめる環境づくり など

○ 官民共創による地域活性化チャレンジの拡大



- ・「ふくいイノベーションオフィス」における首都圏企業等との協働支援
- ・高付加価値企業やオフィス系企業の誘致 など

○ 産業の高付加価値化と基盤強化



- ・ふくい型林業経営モデルの推進や養殖業の成長産業化など、農林水産業の付加価値づくり
- ・中部縦貫自動車道や敦賀港など交通・物流インフラの着実な整備 など

最重点プロジェクト：くらしに活力

幸せを実感できる「都会以上
の生活水準」の実現

福井で働き、暮らすことの利便性・快適性を向上し、

全国トップレベルの

暮らしの基盤と満足度をさらに高める

自分らしい前向きな
暮らし方の応援

安心して将来設計を描ける
社会に向けて、所得向上や
働き方改革などにより、

仕事・結婚・子育て

など自分らしい生き方ができる
環境づくり

暮らしの質を高め、
将来への明るい展望を
描ける
「日本一の幸せ実感社会」

生活密着サービスの
維持向上

デジタル技術の活用や
高度外国人材の育成・確保、
有償ボランティア等により、

人手不足への対応と

サービス向上を推進

○ 幸せを実感できる「都会以上の生活水準」の実現



- ・ オンライン手続きの拡大やサービス基盤の連携など、**生活・行政のDX推進**
- ・ **農村型地域運営組織の形成**など、豊かな自然環境や農用地の保全活動強化
- ・ **省エネ住宅の普及促進**や**太陽光発電・蓄電池の導入拡大**など、脱炭素化の推進 など

○ 自分らしい前向きな暮らし方の応援



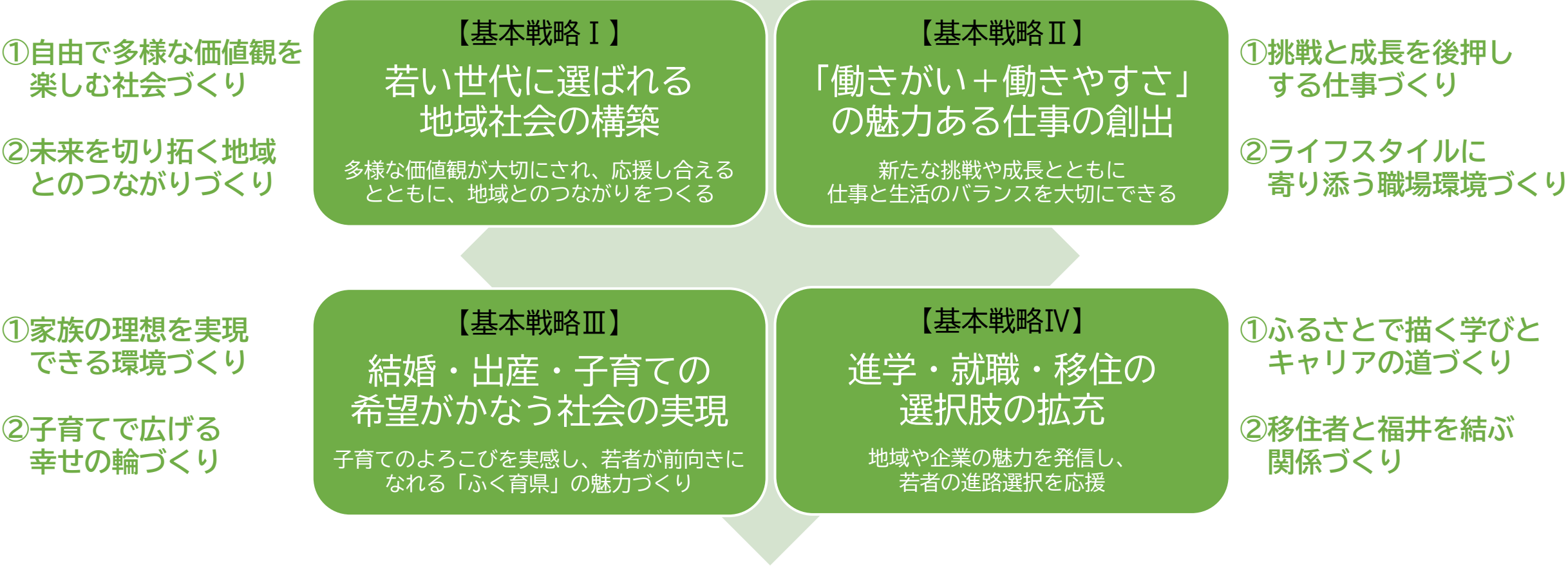
- ・ 社会全体での子育てサポートの充実など、こども・若者に寄り添う視点で「**ふく育県**」を強化
- ・ 「**家族時間・ゆとり時間**」のある暮らしの実現 など

○ 生活密着サービスの維持向上



- ・ へき地等での**医療Ma a S**（移動車両によるオンライン診療等）の導入に向けた実証
- ・ 海外における「**福井クラス**」開催や海外政府機関との連携などによる**高度外国人材の確保** など

「ひとが活躍」「まちに活気」「くらしに活力」のプロジェクトに横串をさして、次世代応援の施策を体系化し、**社会全体で応援**することにより、こども・若者や子育て世代から「**選ばれるふくい**」を実現



○ 若い世代に選ばれる地域社会の構築



共家事（トモカジ）の促進



地域課題解決に向けた体験学習

- ・アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）への気づきの促進
- ・地域課題解決に向けた体験学習など地域とのつながりづくりの充実など

○ 結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現



民間企業と連携した恋愛・結婚応援



全天候型の遊び場
（小浜市「なないろ」）

- ・結婚を希望する方への恋愛から結婚までの切れ目ない応援の充実
- ・全天候型遊び場の整備推進や前向きな子育て観の醸成など

○ 「働きがい+働きやすさ」の魅力ある仕事の創出



働く女性のキャリアアップ研修



定時退社・育児休業取得促進キャンペーン

- ・若者や女性がキャリアアップや起業に挑戦しやすい環境の整備
- ・時短勤務や在宅勤務、短時間正社員など、多様な働き方の促進など

○ 進学・就職・移住の選択肢の拡充



県立大学に国内初の
恐竜学部開設



都市部子育て世帯向け
イベントでのPR

- ・6学部6キャンパスの特性を活かした地域連携による県立大学の魅力向上
- ・本県の育職（食）住を体験する機会の提供など移住希望者との関係強化など

分 野	方向性
個性を伸ばす （人材力） ふくい人は宝。 地域を支え、未来を創造する人材の育成	福井の人材力を最大の武器に。心豊かで個性にあふれ、ふるさとを愛し、 自らの可能性に挑戦し未来を切り拓く人材 を育成します。また、 誰もが個性や能力を発揮でき、互いに応援し合う 、寛容性の高い共生社会を目指します。
成長を創る （産業力） 力強い産業基盤の確立。 チャレンジできる地域経済の構築	新たなことに挑戦し、可能性が広がる地域経済に。 社会課題の解決や持続可能性の実現など企業の強みを活かす挑戦 を後押しし、 働きがいと働きやすさを両立しながら 、活気と好循環の地域経済を目指します。
楽しみを広げる （創造力） 多彩な魅力で交流拡大。 交通新時代の活力の創出	新幹線効果を最大化・持続化 し、持続的にぎわいを地域の力に。深みのある歴史・文化・自然や、心身を豊かにする芸術・スポーツを活かし、 福井ならではの魅力・楽しみ を創り出し、ワクワクと活力あふれるまちを目指します。
住みやすさを高める （地域力） 人生100年時代を充実させる「健幸文化」の創造。 くらしを守る安全・安心	人生100年時代を幸せに。 生涯健康であることを志向する「健幸文化」 を育むとともに、全世代の生きがいづくりを応援します。また、 一人ひとりに寄り添った医療・福祉・防災等 を充実し、安心して暮らせる地域を目指します。
ともに進める （総合力） 協働による県民主役の県政。 外に開き連携強化	徹底現場主義による県民主役の県政 実現。県民・企業・団体・市町など「 チームふくい 」が一丸となり行動するとともに、県境を越える広域連携を強化し、将来像の実現を目指します。

分野別政策一覧

分 野	政 策
個性を伸ばす (人材力)	政策1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進
	政策2 ふくいの産業・社会を支える人づくり
	政策3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現
	政策4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進
成長を創る (産業力)	政策5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化
	政策6 創業・新事業展開の推進
	政策7 未来志向型の産業革新
	政策8 世界のふくいファンを拡大
楽しみを 広げる (創造力)	政策9 北陸新幹線効果を最大化・持続化
	政策10 交流を広げる基盤整備
	政策11 ふくい型移住・定住の促進
	政策12 文化芸術・スポーツ力の強化
住みやすさを 高める (地域力)	政策13 人生100年時代の充実生活応援
	政策14 誰も取り残されない安心の医療・介護・福祉の充実
	政策15 豊かで美しいふくいの環境の継承
	政策16 防災・治安先進県ふくいの実現
ともに進める (総合力)	政策17 「チームふくい」の行政運営
	政策18 広域連携の強化

第2部 実行プラン（分野別政策：個性を伸ばす（人材力））

政策1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進

子ども一人ひとりの個性を「引き出す教育」や、探究心を持って学びを「楽しむ教育」、郷土の歴史、自然、文化、人々等とつながり学ぶ「ふるさと教育」を進め、子ども一人ひとりを大切にする「子どもが主役の教育」を推進

重点施策

○自らと福井の将来につなげる学びの推進

- ・ 福井の未来と地域政策を考える「地域デザイン講座」等、自分の将来や生き方考える機会を提供する「ライフデザイン教育」の推進
- ・ 郷土の文化や暮らし等を学び、発信する「ふるさと教育」の充実
- ・ 子どもの能力や習熟度に合わせた、デジタル技術等の活用による個別最適な学びと協働的な学びの充実
- ・ 探究フォーラムの開催等、「探究的な学び」の先進モデル地域として深化など

○誰一人取り残されず、個性が尊重される学びの推進

- ・ 校内サポートルーム等の多様な居場所づくり
- ・ 特別支援学校が地域とつながるインクルーシブ教育の推進
- ・ 義務教育の学び直しの場として県立夜間中学を開設 など

K P I（重要業績評価指標）	現状	目標
課題の解決に向け、自分で考え、自分から取り組む児童生徒の割合	小学校 86.0% 中学校 84.2%	小学校 90% 中学校 90%
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	小学校 85.3% 中学校 68.9% 高 校 74.9%	小学校 90% 中学校 80% 高 校 80%
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合	小学校 85.9% 中学校 79.0%	小学校 90% 中学校 85%
学校に行くのは楽しいと思う児童生徒の割合	小学校 87.5% 中学校 87.4%	小学校 90% 中学校 90%
自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合	小学校 85.4% 中学校 86.0%	小学校 90% 中学校 90%

政策2 ふくいの産業・社会を支える人づくり

本県の特徴を活かした教育・研究の推進、魅力的な学びの場の創出、産学官連携の強化により、地域に貢献したいと思う意欲を醸成し、地域のために積極的に行動できる人材や、生涯活躍・成長を続け、ふくいの未来を創る人材を育成

重点施策

○魅力的な大学づくり

- ・ 県立大学に「恐竜学部」、「地域政策学部（仮称）」を創設
- ・ 県内大学での地域枠の創設を促進
- ・ 大学連携の強化等による科目の共同開講、単位互換制度、国内留学制度等の促進
- ・ 県内大学授業料の支援に加え、1人暮らしの家賃支援など県内大学進学者への経済的支援 など

○地域拠点校や職業系高校の魅力向上

- ・ 地域の高校が探究学習・行事等で地元市町・小中学校との交流・連携を促進
- ・ 県内で活躍する地元OB等との交流の促進
- ・ 県内すべての職業系高校において、地域産業や企業を学ぶ講座「ふくいの産業」を実施
- ・ 技術系資格取得等を後押しする「福井フューチャーマイスター制度」を実施

K P I（重要業績評価指標）	現状	目標
県内高校卒業生の県内進学・就職率	47.1%	50%
将来の県内就職を視野に入れている生徒の割合	中学校 67.0% 高 校 70.9%	中学校 80% 高 校 80%
県内大学等卒業生の県内就職率	52.7%	55%
県内大学の共同科目の開講数	48科目	60科目

第2部 実行プラン（分野別政策：個性を伸ばす（人材力））

政策3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現

多様な価値観や考え方を認め合える寛容な社会を実現するとともに、性別や年齢、国籍、障がいの有無などに関わらず、県民一人ひとりが自分らしく活躍できる社会を目指す

重点施策

○多様な個性や能力が輝く寛容な共生社会の実現

- ・企業や地域等における固定的な性別役割分担意識などアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）に対する気づきと相互理解の促進
- ・共家事の促進や企業との連携による家事の外部化の促進
- ・農福連携や一般就労に向けた短期就業体験、企業への障がい者雇用に向けた伴走支援 など

○女性、若者が自分らしく活躍できる社会の実現

- ・女性活躍に向けた経営者の意識改革、優れた取組みを行うモデル企業の発信による県内企業の機運醸成
- ・短時間正社員等の多様な働き方の導入や非正規社員の正規転換などによる、女性の年齢階級別正規雇用比率の改善および男女間賃金格差の是正
- ・地域のリーダーとなる若者の育成や、地域活性化につながる若者の新たなチャレンジへの応援 など

K P I（重要業績評価指標）	現状	目標
企業における女性の管理職割合	17.2%	23%
性別役割分担意識の改善	17.4%	10%未満
女性のゆとり時間（有業者平均）	4時間19分	4時間45分
地域活性化に取り組む若者グループ数	155グループ	210グループ
ボランティア行動者率	21.7%	34%
B型事業所平均工賃	全国2位	全国1位
障がい者法定雇用率達成企業の割合	56.7%	60%
外国人相談解決割合	50.0%	80%

政策4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進

福井らしい子育て環境を活かしながら、こども・若者や子育て世代一人ひとりの多様な夢や希望がかなう社会づくりを進め、社会全体でこどもの“よろこび”や子育ての“よろこび”を育み、共感し合う「ふく育県」を実現

重点施策

○一人ひとりに寄り添い、誰も取り残されない「ふく育安心モデル」

- ・様々な家庭環境（ひとり親家庭や多胎児・医療的ケア児などを育てる家庭）に応じた支援や、安心できる多様な居場所づくりの拡大
- ・保育人材確保や、様々なニーズに応じて子育て世帯の家事・育児、外出を支える「ふく育さん」「ふく育タクシー」「すみずみ子育てサポート事業」等
- ・アウトリーチ型（訪問型）支援や子育てアプリ等を活用した当事者目線の広報展開の充実 など

○一人ひとりの夢や希望がかない、幸せを実感できる「ふく育希望モデル」

- ・若者の恋愛気運の醸成、ニーズに合わせた出会いの拡大
- ・こども・若者や子育て世代への伴走支援に取り組む団体の応援
- ・「ゆりかごから巣立ちまで」の切れ目ない支援の推進 など

○子育ての“よろこび”が育まれ、さらに広がっていく「ふく育共感モデル」

- ・県民主体のこども・子育て応援イベントのつなぎや情報発信の応援
- ・時短勤務や男性育休取得など子育て当事者に寄り添った働き方の拡大 など

K P I（重要業績評価指標）	現状	目標
合計特殊出生率	全国8位	全国上位を維持
ふく育県の評価	72.8%	現状値以上
保育所等の待機児童	待機児童ゼロ	待機児童ゼロ
県・市町の結婚応援事業をきっかけとする婚姻件数	109件	200件
男性の育児休業取得率	31.4%	85%

第2部 実行プラン（分野別政策：成長を創る（産業力））

政策5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化

様々な担い手や大規模事業者を育成し、本県の農林水産業の長所や農山漁村の魅力をさらに伸ばすとともに、新幹線開業等によるチャンスを活かして、新たに本県を訪れる人々や県民を巻き込んだ多面的な政策を展開

重点施策

○稼げる農林水産業の展開

- ・農林水産業の大規模経営モデルの育成
- ・園芸、林業、水産カレッジや県立大学との連携等により、農林水産業で活躍する人材を育成するとともに、様々な担い手の参画を推進
- ・いちほまれ、越前がに、県産材など、本県農林水産物の魅力を国内外へ発信など

○農山漁村コミュニティの維持・活性化

- ・別の仕事をしながら農林水産業にも従事する「半（農・林・漁）半X」など多様な働き方の実現
- ・農業を核とした経済活動や農地保全活動と合わせて生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組みを広域的に行う「農村RMO（農村型地域運営組織）」モデル地区の育成
- ・地域を守る鳥獣害対策や防災・減災の基盤整備
- ・食と農林水産業の魅力を発信するイベントの開催や直売所の農林水産物の供給拡大などによる食育・地産地消の推進 など

政策6 創業・新事業展開の推進

北陸新幹線開業により企業や人材の交流が拡大している機を捉え、地域企業と県内外の人材との共創により、社会課題の解決や新たな価値の創出に取り組む「福井型エコシステム」を充実・強化

重点施策

○地域のスタートアップ創出

- ・地域課題の解決に取り組む福井型スタートアップの拡大
- ・大きな成長が期待される大学発スタートアップの創出 など

○全国のスタートアップとの共創

- ・首都圏における情報収集・営業活動を強化するための専任スタッフを配置し、県内企業との共創が見込めるスタートアップを発掘
- ・県政の課題解決にスタートアップのサービス・製品を積極的に採用し、成長を後押し
- ・「ふくいイノベーションオフィス」において、県内外のスタートアップや様々な専門人材と県内企業と一緒に価値づくりに取り組む共創コミュニティを構築・運営 など

○セーフティネットの充実

- ・再チャレンジする際の課題を把握し、積極的な起業チャレンジを応援
- ・社会全体で起業家を応援する機運の醸成 など

※エコシステム：地域内でお金・人・技術等の経営資源が循環する仕組み

※スタートアップ：新しい事業モデルをつくり、短期間での成長を目指す企業

K P I（重要業績評価指標）	現状	目標
県が支援する福井型スタートアップ数	13件	40件
本社・研究開発機能移転・拡充決定件数	2件	50件（5年間）
県産品の新商品売上額	1億円（見込）	5億円（5年間）

K P I（重要業績評価指標）

現状

目標

米・園芸産出額	481億円	540億円
林業産出額	28億円	32億円
漁業産出額	96億円（見込）	105億円
直売所販売額	54億円	64億円
新規就農・就業者数（5年間）	農482人、林115人、 水 94人	農650人、林155人、 水100人

第2部 実行プラン（分野別政策：成長を創る（産業力））

政策7 未来志向型の産業革新

本県の地域産業が蓄積してきた独自技術を発展させ、未来社会を支える新たな価値を生み出す技術開発を推進するとともに、社会経済情勢の変化に対応する持続可能な地域産業を確立

重点施策

○脱炭素技術の開発と資源循環モデルの構築および産業化

- ・民間企業も参加したオープンイノベーションでの研究開発を推進
- ・サーキュラーエコノミー（循環型経済）に対応した脱炭素技術を開発 など

○国内を代表する宇宙産業拠点の形成

- ・新規の超小型人工衛星の開発から各種評価試験、人工衛星の運用まで対応できる県全域による研究開発拠点を形成
- ・超小型人工衛星の量産および衛星データの利活用拡大、新事業の創出 など

○ヘルスケア産業からウェルビーイング産業への拡大

- ・未病対策、スポーツ関連といった健康の増進、ウェルビーイングの向上に資する製品の開発と市場展開を促進 など

K P I（重要業績評価指標）	現状	目標
製造業の1人当たり付加価値額	1,065万円	1,283万円
脱炭素技術に関する共同研究数	5件	25件（5年間）
宇宙産業に関する共同研究数	4件	20件（5年間）
ウェルビーイングに関する共同研究数	5件	25件（5年間）
伝統工芸産地入込数	38万人	60万人
「社員ファースト企業」宣言企業数	521社	1,500社

政策8 世界のふくいファンを拡大

世界市場につながるネットワークの充実・強化を図り、海外との人・モノ・情報の往来を活発化させるとともに、世界市場の取込みに向けて、グローバル人材の育成・就労機会を拡大

重点施策

○福井の「食」の魅力発信

- ・アジアや欧州における営業代行の設置
- ・北陸三県が連携した、海外での展示会出展などのプロモーション活動 など

○福井が誇る「伝統工芸」の奥深さの発信

- ・海外企業に対するPRイベントや産地視察の実施
- ・海外需要を取り込む伝統工芸品の商品開発や美術的価値のある商品づくり など

○モノづくりふくいの「技術」と世界の協働

- ・協力機関を通じたPRや欧州を中心とした海外展示会への出展など、繊維・眼鏡等本県がもつ高い技術力の認知度向上と販路拡大 など

○外国人が暮らし続けたいと思える多文化共生先進地の実現

- ・外国人材の労働・生活環境整備にかかる企業支援の強化
- ・外国人相談センターの体制強化や、地域住民と外国人との協力体制の構築 など

K P I（重要業績評価指標）	現状	目標
新規輸出件数	79件	105件（累計）
クルーズ客船寄港回数	1回	10回
福井で働く外国人労働者	1.1万人	2.1万人
農林水産物・食品輸出額	30億円	54億円

第2部 実行プラン（分野別政策：楽しみを広げる（創造力））

政策9 北陸新幹線効果を最大化・持続化

北陸新幹線開業によるにぎわいを一過性のものとせず、今後の中部縦貫自動車道県内全線開通によるさらなるアクセス向上なども見据え、観光地としての価値を今以上に引き上げるとともに、人材育成や投資の促進により将来にわたり持続可能な観光地域づくりを推進

重点施策

○観光地・宿泊施設のさらなる魅力向上

- ・「選ばれる福井の民宿」となるため、観光客目線からのサービス向上やおもてなし意識の醸成、戦略的な情報発信を展開
- ・旅の目的となる上質な宿泊施設の整備支援や、宿泊機能付きレストラン・世界に顧客をもつホテルの誘致など、多様かつ魅力的な宿泊施設の充実
- ・体験メニュー開発や観光施設の磨き上げ等による面的な観光地づくり など

○未来につながる持続可能な観光地づくり

- ・地域の観光を戦略的に牽引するリーダーや人材の育成
- ・A Iを活用したビッグデータの分析など観光DXをさらに推進し、観光事業者の戦略的な経営を支援 など

○インバウンド誘客プロモーションの強化

- ・外国人観光客がやってみたいと思う体験等を増やし、海外のオンライン旅行会社等での旅行商品の販売を促進
- ・近隣府県の自治体や交通機関等と連携し、外国人観光客に訴求力の高い王道の観光コースづくりや広域での誘客プロモーションを展開 など

K P I（重要業績評価指標）	現状	目標
観光消費額	1,225億円	1,700億円
観光客入込数	1,760万人	2,100万人
宿泊者消費単価	21,587円	27,000円
県内宿泊者数	324万人	450万人
外国人宿泊者数	6.5万人	40万人

政策10 交流を広げる基盤整備

北陸新幹線や中部縦貫自動車道などの高速交通・物流ネットワークの整備により、県内外との交流を拡大する県境フロンティア政策を推進。また、交流の拡大にあわせ、官民共創によるまちづくりや持続可能な二次交通の整備を促進

重点施策

○公共交通ネットワークの維持・活性化

- ・路線バス運転士をはじめとする公共交通の担い手確保
- ・ライドシェアや自動運転、デマンド交通など、地域の実情に応じた移動手段の導入
- ・地域鉄道の安全・安定運行に必要な設備の導入・更新を支援
- ・新駅の整備や既存駅の改修、利便性向上のための機器整備支援
- ・地域鉄道が連携した人材確保や利用促進のためのイベント等を応援 など

○にぎわいを生み出すまちづくり

- ・新幹線駅周辺の再開発や飲食店等の改装の支援などによる商業施設の充実
- ・歴史や文化、自然など地域ならではの景観やコンテンツの魅力を高めるまちづくりの促進
- ・広域道路ネットワークの構築や地域をつなぐ道づくりの推進による交流拠点へのアクセス機能強化
- ・海外クルーズ客船の受入環境整備や福井空港の機能強化等による利活用促進と交流拡大 など

K P I（重要業績評価指標）	現状	目標
路線バス等利用者数	4,723千人	5,316千人
地域鉄道利用者数	13,310千人	15,248千人
道路改良済延長（県管理）	1,539km	1,557km
敦賀港の取扱貨物量	16,767千トン	18,500千トン

第2部 実行プラン（分野別政策：楽しみを広げる（創造力））

政策１１ ふくい型移住・定住の促進

ＵＩターン、県内定着支援を強化し、関係人口の拡大や多様な福井との「関わり」から、地域とのつながりや県外に出た人とつながり続ける仕組みを構築。また、北陸三県や新幹線沿線自治体とも連携してＩターンを促進

重点施策

○高校から子育て期までつながり続けるＵターン支援

- ・アプリを活用した、進学・就職後も福井県の情報に触れる仕組みの構築など

○「選ばれるふくい」の移住定住政策

- ・子育てを機に都市部の方が本県の幸福度、温かさを体験、実感できる育職（食）住を一体的にアピールする機会の提供
- ・新幹線開業を追い風に、沿線県や北陸三県連携による移住イベントの展開など

○関係人口の創出・拡大

- ・県外学生等が、新たな視点や発想を地域課題解決に活かす長期滞在キャンプ活動の拡大
- ・用途を明示したプロジェクト応援型や、来県を促すプログラム提供によるふるさと納税の拡大
- ・地域おこし協力隊の採用拡大、隊員に対する伴走支援充実などによる県内定着促進 など

政策１２ 文化芸術・スポーツ力の強化

悠久の歴史に育まれた暮らしや豊かな自然と風土を活かした文化芸術に触れ、楽しみ、自ら創造・発信する主体的な活動や、県民誰もが夢や感動を共有し、健やかな人生を送れる多様なスポーツ活動・交流の推進により、県民の幸せ実感を向上

重点施策

○県民主体の文化芸術活動を応援

- ・文化芸術の知見を有する専門スタッフによる相談・助言・マッチング等を通じて、県民の主体的・継続的な活動を拡大
- ・企業による文化芸術活動への支援拡大に向け、企業経営者等を対象としたセミナーの開催等により、関心の高い企業間のネットワークを構築 など

○文化観光の推進

- ・一乗谷朝倉氏遺跡や永平寺などの調査・研究を推進し、展示・教育普及への活用と地域文化の価値・魅力の国内外への発信を強化 など

○スポーツによる交流拡大・地域活性化

- ・嶺南地域でのサイクリングイベントなど、豊かな自然を活用したアウトドアスポーツや手軽に楽しめるアーバンスポーツ等、幅広いスポーツの推進など

○トップアスリートの競技活動支援・ＵＩターン推進

- ・「スポジョブふくい」を活用したＵＩターン就職を推進し、トップアスリートへの中長期的な活動を支援 など

K P I（重要業績評価指標）	現状	目標
社会増減 ※日本人のみ	△2,018人	△2,000人以内
学生Ｕターン率	27.9%	30%
新ふくい人（社会人ＵＩターン者）	1,361人	1,600人
学生キャンプ参加人数	387人	600人（５年間）
地域おこし協力隊 隊員数	58人	100人

K P I（重要業績評価指標）	現状	目標
文化芸術活動実践団体数	114団体	165団体
文化芸術活動に参加した県民の数	41,507人	70,000人
福井ゆかりのアーティスト等を登録するデータベースの登録件数（累計）	86件	150件
運動・スポーツ実施率（成人の週１日以上）	48.7%	60%
「スポジョブふくい」でのUIターン就職者数	24人	30人
「FUKUI RAYS」観客動員数（ホームゲーム平均数の合計）	4,408人	7,500人

第2部 実行プラン（分野別政策：住みやすさを高める（地域力））

政策13 人生100年時代の充実生活応援

人生100年時代に備え、生涯を通じて心身ともに健やかにいきいきと暮らすため、若いうちから生活習慣を改善するなど健康寿命のさらなる延伸を目指すとともに、若者からシニア世代まですべての世代のチャレンジ、地域での活躍を応援

重点施策

○「歩いて健康維持」と「適切な食塩摂取」による生活習慣改善

- ・アプリなどを活用し、市町と連携して歩数目標達成に対する報奨付与など、健康行動を習慣化
- ・年齢や性別に応じた段階的な歩行目標値の提示
- ・適切な食品摂取の知識をわかりやすく情報発信
- ・省塩商品の開発や利用促進など、食品事業者等の省塩の取組みを拡大 など

○シニア世代の活躍の場の創出

- ・シニア世代が気軽に集い、交流を楽しむ「通いの場」の整備
- ・地域貢献活動等、シニアグループの新たな活動「シニアチャレンジ」を応援
- ・元気なシニア世代が介護施設の補助的な業務をサポートする「ちょこっと就労」の普及・促進
- ・シニア世代一人ひとりが自分の都合に合わせて活動できるよう、技能・経験と就労・ボランティアニーズをマッチングさせる「モザイク型就労」の社会実装の推進 など

K P I（重要業績評価指標）	現状	目標
平均歩数の増加（20～64歳）	男性 6,821歩 女性 5,398歩	男性 8,700歩 女性 7,800歩
食塩摂取量の減少（20歳以上）	男性 11.9g 女性 9.9g	男性 8.0g未満 女性 7.0g未満
特定健康診査実施率（40～74歳）	57.0%	70%
「ちょこっと就労」の新規参加者数	108人	550人（5年間）
シニアチャレンジ応援事業による活動実施団体数	92団体（5年間）	100団体（5年間）
ふくい健康づくり実践事業所認定数	130事業所	250事業所

政策14 誰も取り残されない安心の医療・介護・福祉の充実

地域医療を取り巻く環境変化を踏まえ、医療・介護・福祉の連携を強化して地域包括ケアシステム体制を構築します。また、地域福祉の担い手のつながりや居場所づくりにより共助の力を活性化し、住民の福祉ニーズに対する支援を行き届ける

重点施策

○支援が届きにくい地域住民への支援体制の強化

- ・地域福祉の担い手をつなげるコミュニティソーシャルワーカーの配置等
- ・包括的な相談支援体制（重層的支援）の強化
- ・地域づくりに取り組む市町を支援するための職員配置 など

○強度行動障がい児者、医療的ケア児者への支援充実

- ・強度行動障がい児者を受け入れる事業所の個室化等の改修を促進
- ・支援者間でのネットワーク構築や事例検討会の開催
- ・医療的ケア児者の支援を総合調整するコーディネーターの養成
- ・医療的ケアが必要な重度心身障がい児者を受け入れる事業所の拡大 など

○DXによる医療の質の向上・格差の解消

- ・へき地等における医療Ma a S（移動車両によるオンライン診療等）の導入に向けた実証 など

K P I（重要業績評価指標）	現状	目標
外国人介護人材受入数（タイ・ミャンマー）	13人	150人（5年間）
医療的ケア児者を受け入れる事業所数	50事業所	65事業所
家族支援プログラムを実施する療育拠点病院	0病院	6病院
県が医療機関へ派遣した医師数	86人	93人
救急搬送人数に占める軽症者の割合	41.7%	40%未満
地域のプラットフォーム（日常生活圏域単位の協議体）設置数	20か所	70か所

第2部 実行プラン（分野別政策：住みやすさを高める（地域力））

政策15 豊かで美しいふくいの環境の継承

2050年のカーボンニュートラルに向けて、エネルギー源の転換や再生可能エネルギーの導入を進めるほか、自然と共生する社会づくりや自然環境の保全、循環型社会の推進により、本県の環境の豊かさと美しさを守り育て、次世代に継承

重点施策

○温室効果ガス排出量49%削減に向けた実践

- ・次世代自動車（EV等）や次世代住宅（ZEH）の普及拡大
- ・水素・アンモニアの利活用拡大に向けた需要創出や供給体制構築
- ・環境アプリ「ふくeco」を活用した県民運動「デコ活ふくい」の展開
- ・中小企業への省エネ・省CO2設備の導入促進 など

○脱炭素化に資する「価値づくり」への挑戦

- ・ふくいオープンイノベーション推進機構による脱炭素関連技術の開発支援
- ・嶺南地域におけるエネルギー関連の産業育成や新産業創出の推進 など

○スマートエリアの形成

- ・嶺南市町が行うスマートタウン整備に向けた支援 など

○気候変動「適応策」の推進

- ・暑さに強い水稻品種の開発や熱中症対策の推進 など

KPI（重要業績評価指標）	現状	目標
県内の温室効果ガス排出量の削減（2013年度比）	28%	49% （2030年度）
再生可能エネルギーの導入量	898kW	1,336kW （2030年度）
脱炭素・省エネに取り組む事業者数	154件	700件（累計）
嶺南地域においてVPPに参加可能な電力	664kW	1,000kW
自然再生取組地域数	13地域	19地域

政策16 防災・治安先進県ふくいの実現

頻発・激甚化する自然災害に対し、つながり助け合う参加型コミュニティを形成しながら、自助・共助の力を高めるとともに、県土強靱化を推進し、万全の備えを期す。また、犯罪や事故等に巻き込まれない安心して暮らせる社会の実現を目指す

重点施策

○地域一体で進める防災力の強化

- ・大規模災害時に避難誘導・安否確認、避難所運営などを行う大規模災害団員の確保支援
- ・住民参加による地域防災マップの作成、マップを使用した防災訓練の支援
- ・防災士の養成や防災意識の醸成に向けた防災教育の充実
- ・流通備蓄の仕組みを導入した備蓄物資の確保 など

○デジタル技術を活かした防災DXの推進

- ・ドローンによる情報収集や物資輸送の仕組みの確立
- ・デジタル技術を活用した避難所運営システムによる避難所運営支援の充実
- ・河川監視カメラや危機管理型水位計の増設 など

○事前防災対策による県土強靱化の推進

- ・河川やダム、雨水流出を抑制する施設等の治水対策、砂防堰堤等の整備による土砂災害対策の推進や災害に強い道路ネットワークの構築
- ・能登半島地震を踏まえた上下水道や木造住宅の耐震化 など

KPI（重要業績評価指標）	現状	目標
防災士数	4,398人	5,600人
緊急輸送道路における道路斜面对策率	41.0%	47.8%
河川の整備延長（県管理）	59.6km	66.6km
土砂災害警戒区域（保全人家10戸以上）における土砂災害対策施設整備率	43.5%	45.1%
防犯インフラ整備支援地区数（地域全体で犯罪抑止に取り組むため防犯カメラ等を設置する地区）	143地区	200地区（累計）

第2部 実行プラン（分野別政策：ともに進める（総合力））

政策17 「チームふくい」の行政運営

徹底現場主義の考え方にに基づき、県民・企業・団体・市町との協働を進めるとともに、官民共創による政策形成システムの強化や安定した行財政運営など、将来像の実現に向けた県民主役の県政を推進

重点施策

○官民がつながり、チームふくいを実現

- ・職員クレドの実践による課題解決力の強化や、民間発の事業を行政が応援する、ふくい型の官民共創の拡大
- ・県と市町の相互連携を促進する勤務環境づくり
- ・デジタルデバイド（情報格差）対策の推進やプッシュ型情報発信の強化
- ・健全財政の堅持 など

○未来をデザインする「政策オープンイノベーション」の推進

- ・客観的・主観的幸福度の両方で全国トップクラスであることを活かし、県内外の企業等とウェルビーイング政策を共創・推進
- ・SDGsパートナーの取組み情報の発信やパートナー同士の協働の促進
- ・民間事業者が先進的・革新的な技術を活用して行う実証事業の応援や、包括連携協定等に基づく連携事業の展開
- ・官民を挙げて「福井がいま、おもしろい！」という前向きで明るいイメージを形成する福井県ブランド戦略を推進 など

KPI（重要業績評価指標）	現状	目標
福井県職員クレドの実践度	3.1点	3.5点以上（2028年度）
財政調整のための3基金残高	163億円	130億円以上（2028年度）
県債残高 （臨時財政対策債を除く）	5,655億円	これまでの県債残高の最大（6,684億円）を超えない水準を維持（2028年度）
将来負担比率	153.8%	全国中位水準を維持（2028年度）

政策18 広域連携の強化

北陸新幹線や中部縦貫自動車道など高速交通網等の整備に伴い、増加が見込まれる人・モノ・情報の交流促進をはじめ、広域的な医療体制の整備や激甚化・頻発化する災害への対応力を強化するため、県境を越えた緊密な連携体制を構築

重点施策

○沿線自治体等と連携した高速交通網等の整備促進

- ・北陸新幹線小浜京都ルートによる一日も早い全線開業の実現に向けて、関西など沿線の関係者とともに、政府・与党に強く要請
- ・中部縦貫自動車道大野油坂道路の一日も早い県内全線開通や舞鶴若狭自動車道の4車線化について、沿線自治体と連携し整備を促進
- ・国道8号牛ノ谷道路・金津道路や国道27号青葉改良、国道365号栃ノ木峠道路などの県境道路について、隣接府県と連携し整備を促進 など

○広域連携の強化による大規模災害への対応力強化

- ・地震や水害、大雪などの大規模な自然災害への備えとして、広域防災訓練の実施、近隣県と応援手順や資機材等の情報共有
- ・災害対応により一時的に業務量が増え、人員確保が困難となる土木、建築、保健師等の被災地自治体の要望に応じた派遣や、迅速な住民生活の復旧に向けた災害ボランティアの派遣 など

KPI（重要業績評価指標）	現状	目標
他都道府県等と新たに連携し実施するプロジェクト数（5年間）	27件	30件

人口減少対策プロジェクト

第2部 実行プラン

次世代ファースト戦略

こども・若者や子育て世代を社会全体で応援することにより、「選ばれるふくい」を実現

※最重点プロジェクトにも位置づけ

- ①自由で多様な価値観を楽しむ社会づくり
- ②未来を切り拓く地域とのつながりづくり

【基本戦略Ⅰ】

若い世代に選ばれる
地域社会の実現

【基本戦略Ⅱ】

「働きがい+働きやすさ」
の魅力ある仕事の創出

- ①挑戦と成長を後押しする仕事づくり
- ②ライフスタイルに寄り添う職場環境づくり

- ①家族の理想を実現できる環境づくり
- ②子育てで広げる幸せの輪づくり

【基本戦略Ⅲ】

結婚・出産・子育ての
希望がかなう社会の実現

【基本戦略Ⅳ】

進学・就職・移住の
選択肢の拡充

- ①ふるさとで描く学びとキャリアの道づくり
- ②移住者と福井を結ぶ関係づくり

適応戦略

人口減少が進む中でも、地域経済の成長や暮らしの質の向上を図り、持続可能な地域社会を実現

- ・人材の確保
- ・外国人の活躍
- ・生産性の向上

想定される課題

労働力人口の減少

地域社会の弱体化

- ・安全・安心なまちづくり
- ・交通・社会インフラの整備
- ・農林水産業の振興
- ・医療・介護・教育水準の維持向上
- ・伝統文化の継承

第2部 実行プラン（人口減少対策プロジェクト：次世代ファースト戦略）

基本戦略Ⅰ 若い世代に選ばれる地域社会の構築

多様な価値観が大切にされ、活躍を応援し合える社会を形成。ふるさとの魅力を知り、自分の未来を拓くきっかけとなる地域とのつながりをつくる

実行する取組み

○自由で多様な価値観を楽しむ社会づくり

- ・アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）への気づきの促進
- ・共家事やラク家事の促進による「ゆとり時間」の創出を通じた自己実現を図る機運の醸成
- ・自分らしく活躍する女性や女性の活躍を応援する男性リーダーなどの発信
- ・「エキセントリック・カレッジふくい」の実施など地域のリーダーとなる若者の育成
- ・地域活性化につながる若者のチャレンジの応援 など

○未来を切り拓く地域とのつながりづくり

- ・地域課題解決に向けた体験学習等による「ふるさと教育」の充実
- ・福井の未来と地域政策を考える「地域デザイン講座」等、自分の将来や生き方を考える機会を提供する「ライフデザイン教育」の推進
- ・「未来協働プラットフォームふくい」等における産官医金連携による学びや共同研究を通じた地域に貢献する人材の育成
- ・若者が社会参加活動に参加しやすい環境の整備 など

基本戦略Ⅱ 「働きがい＋働きやすさ」の魅力ある仕事の創出

新たな挑戦や成長の機会を広げる仕事づくりを推進。若い世代の所得向上を目指すとともに、家族との時間や仕事と生活のバランスを大切にできる職場環境を整備

実行する取組み

○挑戦と成長を後押しする仕事づくり

- ・経営者等の意識改革やモデル企業の発信による企業の女性活躍推進に向けた機運の醸成
- ・リーダー育成研修や社外指導・助言者派遣など働く女性の職業能力向上支援
- ・スタートアップの創出により、県内産業の新しい価値づくりを促進
- ・起業文化醸成キャンペーンなど何度でも起業に積極的に挑戦できる環境整備
- ・賃金が高く、働きがいがある高付加価値企業の誘致促進
- ・社会課題解決に貢献する産業や持続可能な新成長産業の創出 など

○ライフスタイルに寄り添う職場環境づくり

- ・時短勤務や男性育休の取得など多様な働き方の拡大
- ・働きやすい職場環境整備を行う「社員ファースト企業」の拡大
- ・ウェルビーイング経営の推進による働きがい向上
- ・短時間正社員等の多様な働き方の導入、非正規社員の正規転換などを通じたL字カーブの改善と男女間賃金格差の是正
- ・生産性向上への支援など県内企業の継続的な賃上げに向けた環境整備 など

K P I（重要業績評価指標）	現状	目標
性別役割分担意識の改善	17.4%	10%未満
女性のゆとり時間（有業者平均）	4時間19分	4時間45分
地域活性化に取り組む若者グループ数	154グループ	210グループ
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	小85.3%、中68.9% 高74.9%	小90%、中80% 高80%
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合	小学校 85.9% 中学校 79.0%	小学校 90% 中学校 85%
ボランティア行動者率	21.7%	34%

K P I（重要業績評価指標）	現状	目標
企業における女性の管理職割合	17.2%	23%
県が支援するスタートアップ数	13件	40件
本社・研究開発機能移転・拡充決定件数	2件	50件
男性の育児休業取得率	31.4%	85%
「社員ファースト企業」宣言企業数	712社	1,500社

第2部 実行プラン（人口減少対策プロジェクト：次世代ファースト戦略）

基本戦略Ⅲ 結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現

結婚や子育ての希望など、一人ひとりが思い描く暮らしの実現を応援。子育てのよろこびを実感し、若者が前向きになれる日本一幸福な子育て県「ふく育県」の魅力を拡大

実行する取組み

○家族の理想を実現できる環境づくり

- ・恋愛機運の醸成や出会いの機会の拡大により、交際を希望する若者を後押し
- ・「地域の縁結びさん」や「ふく恋」など人の手とシステムによる婚活応援
- ・こども・若者・子育て世代への伴走支援や、こどもの見守り、家庭でも学校でもない第三の居場所づくりなど、社会全体でこどもを支える地域づくり
- ・ひとり親や多胎児、医療的ケア児など様々な家庭環境に応じた支援の充実
- ・「ふく育さん」「ふく育タクシー」の利用支援や「すみずみ子育てサポート事業」の充実 など

○子育てで広げる幸せの輪づくり

- ・子育て応援イベントの情報発信、こども・若者と乳幼児が触れ合う機会創出などを通じた前向きな子育て観の醸成
- ・天候に関わらず安全・安心に遊ぶことができる全天候型の遊び場の整備
- ・プレコンセプションケア（将来の妊娠のための健康管理）の推進や不妊治療への支援を通じたこどもをもちたい夫婦やカップルの応援
- ・心身のケアや育児のサポートを行う産後ケアの充実
- ・必要な情報に素早く、簡単にアクセスできる子育て支援DXの推進 など

基本戦略Ⅳ 進学・就職・移住の選択肢の拡充

地域や企業の魅力を発信し、地元での進学や就職、U I ターンなど若者の進路選択を応援。移住希望者が福井での暮らしを身近に実感できる取組みを充実

実行する取組み

○ふるさとで描く学びとキャリアの道づくり

- ・高校在学中から進学、就職、子育て期まで、地域と学生がつながり続け、「福井で働き、福井で暮らす」ことをイメージできる仕組みの構築
- ・本県の特徴や社会情勢に合わせた県内大学の学部・学科の創設・再編等支援
- ・大学同士の連携強化による科目の共同開講や単位互換制度・国内留学制度の促進など、魅力的な大学づくり
- ・県内大学進学者への経済的支援や、県内大学への地域枠創設の促進など、県内大学に進学しやすい環境整備 など

○移住者と福井を結ぶ関係づくり

- ・移住希望者に対する本県の子育て環境や食・住環境を実感する機会の提供
- ・園芸、林業、水産の各カレッジや「伝統工芸職人塾」など、福井の産業力を活かした移住促進
- ・ふるさと福井移住定住促進機構による移住・就職マッチング
- ・移住サポーターを核とした人が人を呼ぶ移住施策の拡充
- ・本県独自の移住支援金など、移住者に対する経済的支援の充実 など

K P I（重要業績評価指標）	現状	目標
社会増減	△2,607人	△2,000人以内
県内高校卒業生の県内進学・就職率	47.1%	50%
将来の県内就職を視野に入れている生徒の割合	中 67.0%、高 70.9%	中 80%、高 80%
県内大学等卒業者の県内就職率	52.7%	55%
県内大学の共同科目の開講数	48科目	60科目
学生Uターン率	27.9%	30%
新ふくい人（社会人U I ターン者）	1,361人	1,600人
地域おこし協力隊 隊員数	58人	100人
学生キャンプ参加人数	387人	600人

K P I（重要業績評価指標）	現状	目標
合計特殊出生率	全国8位	全国上位を維持
ふく育県の評価	72.8%	現状値以上
保育所等の待機児童	待機児童ゼロ	待機児童ゼロ
県・市町の結婚応援事業をきっかけとする婚姻件数	109件	200件

第2部 実行プラン（人口減少対策プロジェクト：適応戦略）

想定される課題1 労働力人口の減少

様々な分野の人材不足により、産業の成長が妨げられ、生活を支えるサービスが十分に提供できなくなる懸念

実行する取組み

○人材の確保

- ・女性、シニア、障がい者など働く意欲がある人材と企業とのマッチング促進
- ・副業・兼業、短期アルバイトの活用など意欲ある人が活躍できる環境整備
- ・人手不足業種への労働移動の促進、職業訓練や技能継承の強化
- ・都市圏の専門人材による県内企業での副業・兼業の推進
- ・処遇改善や現場の負担軽減、研修の機会確保など、保育、医療、介護、土木、農林といった分野に応じた支援の充実 など

○外国人の活躍

- ・海外人材育成機関との連携による高度外国人材の安定確保に向けた体制整備
- ・留学生の受入れ拡大、県内企業とのマッチング支援による定着の促進
- ・介護、建設、農業分野における外国人材の就労・定着促進
- ・「F U K U I 外国人材受入サポートセンター」による相談対応や就業支援
- ・外国人の不安に寄り添う相談体制の強化 など

○生産性の向上

- ・ふくいDXオープンラボを拠点とした相談対応や専門家派遣による伴走支援
- ・DX計画の策定支援や投資補助による個社に合わせたデジタル導入促進
- ・産学官連携による建設DX計画の策定やICT活用工事の拡大
- ・スマート農業の実装支援や漁業、園芸等へのスマート技術の導入 など

想定される課題2 地域社会の弱体化

住民の減少や高齢化により地域コミュニティの維持が困難になるほか、生活利便性の低下や社会資本の老朽化、農林水産業の縮小などの懸念

実行する取組み

○安全・安心なまちづくり

- ・コンパクトな都市づくり、空き家の活用・管理、集落や市町による担い手育成への支援など、暮らしやすい市街地・集落の形成
- ・大規模災害団員の確保や、個別避難計画作成など、地域防災力の強化
- ・行政手続きの完全オンライン化など行政サービスの利便性向上 など

○交通・社会インフラの整備

- ・デマンド交通、ライドシェア、自動運転など地域実情に応じた公共交通整備
- ・予防保全による老朽化対策など、社会インフラの適切な維持管理 など

○農林水産業の振興

- ・農林水産業の大規模経営モデルの育成
- ・耕作放棄地の発生抑制など農山村集落での共同活動の継続支援 など

○医療・介護・教育水準の維持向上

- ・在宅ケアの充実や移動車両による遠隔診療など医療・介護体制の整備
- ・複合化・複雑化した福祉ニーズへの対応の充実
- ・少人数指導の推進や教育DXの基盤整備など、教育環境の充実 など

○伝統文化の継承

- ・文化財や景観の保存・継承・活用、地域文化を支える人材の確保 など

K P I（重要業績評価指標）	現状	目標
「ちょこっと就労」の新規参加者数	108人	550人
障がい者法定雇用率達成企業の割合	56.7%	60%
福井で働く外国人労働者	1.1万人	2.1万人
外国人介護人材受入数（タイ・ミャンマー）	13人	150人
新規就農・就業者数	農482人、林115人、水94人	農650人、林155人、水100人

K P I（重要業績評価指標）	現状	目標
防災士数	4,398人	5,600人
路線バス等利用者数	4,723千人	5,316千人
米・園芸算出額	481億円	540億円
地域のプラットフォーム （日常生活圏域単位の協議体）設置数	20団体	70団体
文化芸術活動に参加した県民の数	41,507人	70,000人

I 将来イメージ（2040年頃）

- ・ 福井を代表する観光資源が集積する歴史と自然が調和したにぎわいエリア
- ・ 革新的な技術や製品を生む未来産業創造エリア
- ・ 県立大学や園芸カレッジ等による人材育成と、新たな価値を生み出す食と農のプラットフォームエリア
- ・ 県民や観光客にとって新たな移動手段が実現する先端交通エリア

II 施策の方向性（2025～2029年度）

（1）観光拠点の整備とまちづくり

- 福井駅周辺のまちづくり
 - ・ 「県都グランドデザイン」に基づく官民連携によるまちづくりの推進（県、福井市、民間）
 - ・ 県都の新しい歴史・文化のシンボルとなる福井城坤櫓や本丸西側土堀の復元を推進（県）
- 新たな移動サービスの実現
 - ・ 自動運転を含めた新しい交通体系の検討（永平寺町）
- 一乗谷フィールドミュージアム化の推進
 - ・ 一乗谷朝倉氏遺跡博物館等でのイベントの開催、県外への出向宣伝による博物館および遺跡の認知度向上（県）
- 観光受入れ環境の整備
 - ・ 東尋坊再整備基本計画に基づく魅力向上（県、坂井市）
 - ・ あわら温泉を核とした観光まちづくりの推進（あわら市）

（2）産業の活力創造

- 食と農林水のプラットフォーム形成
 - ・ 県立大学や園芸・林業・水産の各カレッジ等における人材育成（県）
 - ・ 高温等気象変動に対応したコメ、園芸品種を育成（県）
- 農山漁村コミュニティの活性化
 - ・ 県民の憩いの場としての福井県総合グリーンセンターの機能を充実（県）
- 未来に向けた新ビジネスの創出・人材の育成
 - ・ ふくいイノベーションオフィスにおいて県内企業とスタートアップとの共創を促進（県）
 - ・ 福井駅周辺にキャンパスを置く県立大学「地域政策学部（仮）」を創設し、地域の課題解決に取り組む人材を育成（県）
- 産業団地の整備、企業誘致
 - ・ 北陸自動車道福井 I C 付近に新たな産業団地を整備（県、福井市）

（3）地域産業とくらしの安全を支える基盤整備

- 福井港・福井空港の整備、利用拡大
 - ・ 福井空港ビルの再整備の推進（県）
- 道路等の交通ネットワークの整備
 - ・ 福井港丸岡インター連絡道路の整備推進（県）
 - ・ ハピラインふくいの福井市新駅（森田・福井駅間）の整備、既存駅（春江駅等）の改修（国、県、沿線市、民間）
- 県土強靱化の推進
 - ・ 底喰川、竹田川などの河川改修、伐木や浚渫の推進（県）

I 将来イメージ（2040年頃）

- ・日本一の星空にも選ばれた六呂師高原など、ほんものの大自然を体感するエリア
- ・福井と中京を結ぶ「東西交流軸」の拠点として、新たに人や企業が集まり交流する新産業集積エリア
- ・中世宗教都市の歴史を感じる白山平泉寺など、奥越前の歴史遺産ブランドエリア
- ・農林水産業の振興と6次産業化によるにぎわいと活力の里地里山ビジネスエリア

II 施策の方向性（2025～2029年度）

（1）観光拠点の整備とまちづくり

- 中部縦貫自動車道を活かしたエリア開発
 - ・六呂師高原開発計画に基づいた整備や体験活動の充実など受入環境整備を推進（県、大野市）
 - ・星空保護区®の認定を受けた南六呂師地区の自然保護センターの機能強化等を検討（県）
- 恐竜ブランドの強化
 - ・ナイトミュージアムの開催（県）
 - ・県立大学における「恐竜学部」の創設（県）
 - ・かつやま恐竜の森へのリゾートホテルの進出（県、勝山市、民間）
- 観光受入れ環境の整備
 - ・白山ユネスコエコパークの地域資源を活用した受入環境の整備（大野市、勝山市）

（2）産業の活力創造

- 稼げる農林水産業の実現
 - ・園芸タウンの整備によるサトイモ、白ネギなどの1億円園芸産地の拡大（県）
 - ・ふくい名水サーモンなど豊富な水資源を活用した陸上養殖を推進（県、民間）
- 農山村コミュニティの活性化
 - ・林業遺産である越前オウレンや香福茸など特産林産物の生産拡大（県、市町、民間）
- 産業団地への企業誘致
 - ・本県の東の玄関口としての立地環境を活かし、中京圏の企業を中心に企業誘致を推進（県、大野市）

（3）地域産業とくらしの安全を支える基盤整備

- 道路等の交通ネットワークの整備
 - ・中部縦貫自動車道の整備促進（国）
 - ・国道157号の4車線化の整備推進（県）
 - ・沿線市町やJR西日本とともに、増便やキャッシュレス化などJR越美北線の利便性向上策を検討・実施（県、沿線市、民間）
- 県土強靱化の推進
 - ・笹生川ダム、浄土寺川ダム、河川管理施設などの老朽化対策の推進（県）
 - ・国道416号などの道路施設の老朽化対策、防災対策、雪対策等の推進（県）

I 将来イメージ（2040年頃）

- ・伝統工芸や地場産業、ハイテク産業が集積し、伝統と革新が融合する最先端のものづくりエリア
- ・移住者、女性、外国人など様々な人たちが共生しチャレンジするエリア
- ・北国街道の今庄宿など、行き交う歴史や自然が魅力の街道新交流エリア
- ・伝統工芸体験など、地域の営みを楽しむ新たな「しごととくらし」の観光エリア

II 施策の方向性（2025～2029年度）

（1）観光拠点の整備とまちづくり

- 越前たけふ駅周辺のまちづくり
 - ・越前たけふ駅周辺の整備（越前市）
 - ・デマンド交通、タクシーなど、日常生活の移動手段および二次交通の充実（県、越前市）
- 観光受入れ環境の整備
 - ・ハピライン鯖江駅周辺の整備による市民・来訪者がくつろげる空間の創出（鯖江市）
 - ・越前和紙の里エリアの観光資源磨上げによる受入れ環境の整備（越前市）
 - ・ツリーピクニックアドベンチャーいけだや道のオアシスフォーシーズンテラスの魅力向上（池田町）
 - ・鉢伏山一帯施設の整備（南越前町）
 - ・越前陶芸村の魅力向上および周辺施設の再整備（県、越前町）

（2）産業の活力創造

- ものづくり産地の活性化
 - ・伝統工芸職人塾による後継者育成、RENEWや千年未来工芸祭への運営支援など、若者の力を活かした産地活性化の推進（県、鯖江市、越前市、越前町）
 - ・神明地区等における産業と観光を連動した「めがねのテーマパーク化」を推進（鯖江市）
- 稼げる農林水産業の実現
 - ・有機農業の大規模水稻モデルづくりと横展開を推進（県）
 - ・未来へ耕す池田米プロジェクトおよび木望の森100年プロジェクトの展開（池田町）
- 農山漁村コミュニティの活性化
 - ・鳥獣害対策コーディネーターによる地域の課題に応じた指導（県）
 - ・漆器に用いるウルシや香福茸など特産林産物の生産拡大（県、市町、民間）

（3）地域産業とくらしの安全を支える基盤整備

- 道路等の交通ネットワークの整備
 - ・国道365号（越前町八田～越前市北山町）の整備推進（県）
 - ・ハピラインふくいの「しきぶ駅」（王子保・武生間）の整備（国、県、沿線市、民間）
- 県土強靱化の推進
 - ・国道365号柘ノ木峠道路の直轄権限代行による事業化の促進（国）
 - ・吉野瀬川ダムの建設推進（県）
 - ・鹿蒜川流域防災・減災プロジェクトの推進（県）

I 将来イメージ（2040年頃）

- ・ 創造的に働きながら文化的・健康的に過ごせるくらしの先進地「WAKASARIフレッシュエリア」
- ・ 人や企業が集まる嶺南Eコーストエリア
- ・ 嶺南の自然と歴史を楽しむインバウンドリゾートエリア
- ・ 伝統芸能・祭り、寺社仏閣などを学び、交流する伝統文化を学び体感するエリア

II 施策の方向性（2025～2029年度）

（1）観光拠点の整備とまちづくり

- 小浜市の新駅（東小浜付近駅）周辺のまちづくり
 - ・ 新幹線駅周辺のまちづくりの検討（小浜市）
- 「WAKASARIフレッシュエリア」の形成
 - ・ VPP（仮想発電所）技術により地域内のエネルギー利用の最適化を図る、スマートエリア形成を促進（県、市町、民間）
 - ・ 国内外のアーティストが参加するアートイベントの開催（県、市町）
- 観光受入れ環境の整備
 - ・ ナショナルサイクルルートの指定を目指す若狭湾サイクリングルートを核としたサイクリスト受入体制のさらなる充実（県、市町）
 - ・ 金ヶ崎エリアおよび氣比神宮エリア等におけるにぎわい創出に向けた整備促進（県、敦賀市、民間）
 - ・ 小浜西組の町家（空き家）を活用して宿泊施設に改修（小浜市）
 - ・ 道の駅「シーサイド高浜」のリニューアル整備（高浜町）
 - ・ 道の駅「三方五湖」周辺の再整備（若狭町）

（2）産業の活力創造

- 「嶺南Eコースト計画」の推進
 - ・ 廃止措置工事への県内企業の参入や製品技術の研究開発を促進（県、民間）
- 稼げる農林水産業の実現
 - ・ 第二園芸カレッジ（仮称）の整備により嶺南地区の新規就農・就業者を育成（県、市町）
 - ・ かつみ水産ベースにおいて環境変化に強い新たな養殖種苗の開発（県、民間）
- 農山漁村コミュニティの活性化
 - ・ 園芸LABOの丘を再整備し、にぎわいを創出（県）
- 産業団地の整備、企業誘致
 - ・ 小浜市に新たな県営産業団地を整備（県、小浜市）
 - ・ チャレンジショップによる新規創業・新事業展開を推進（おおい町）

（3）地域産業とくらしの安全を支える基盤整備

- 敦賀港の整備、利用拡大
 - ・ 増大する貨物需要に対応する敦賀港鞠山南地区の整備（国、県）
- 道路等の交通ネットワークの整備
 - ・ 舞鶴若狭自動車道4車線化の整備促進（民間）
 - ・ 増便やキャッシュレス化などJR小浜線の利便性向上策を検討・実施（県、沿線市、民間）
- 県土強靱化の推進
 - ・ 国道162号西津橋、城内橋、大手橋の整備推進（県）